

保健環境研究所だより

もくじ

- ・就任のご挨拶 P1
- ・「身近な川の生物調査」をお手伝いしています P2
- ・京都府保健環境研究所が新しくなります（その3） P3
- ・「夏休み体験教室－科学の目で見なおそう身の周り」参加者を募集します P4



No. **114**
平成29年6月

就任のご挨拶



所長 山岸 久一

平成29年4月1日に京都府保健環境研究所所長に就任いたしました山岸久一でございます。

私は、これまで40年間、消化器系外科の医師、教官として、皆さまの生活に深くかかわってきましたが、京都府立医科大学長退任後は、京都府特別参与、京都府地域医療センター長として京都府内の地域医療の連携・医師の支援・医療の安定化に取り組んでまいりました。

この間、阪神淡路大震災や、未だ復興途上にある東日本大震災に続き、去年は、熊本で大きな地震が発生しました。また、近い将来の発生が懸念されている南海トラフ大地震といった大きな自然災害に加えて、日本各地での家禽における鳥インフルエンザの発生、ノロウイルスによる集団食中毒など感染症の発生も、府民の皆さまの大きな不安材料となっています。

このようなさまざまな分野での健康危機の発生を未然に防ぎ、不幸にして生じた危機に対しては、その被害を最小限に抑えることは、非常に重要なことであり、これからもますます府民の皆さまのニーズが高まるだろうと考えております。

京都府保健環境研究所は、皆さまが安心して、安全に暮らせるように、日々、感染症、食品、薬品、廃棄物などの試験検査や調査研究を行うとともに、河川水・地下水や大気、放射線といった生活環境の常時監視を行っています。

これからも、府民の皆さまの健康の保持・増進と環境の保全に努めますとともに、健康危機発生時には、検査や調査の迅速な対応を行い、京都府における健康（環境）危機管理センターとしての役割を果たすことを念頭に置きながら、業務を推進してまいります。

さらに、本年度からは、京都市との協調の取組として、京都府保健環境研究所と京都市衛生環境研究所の合築整備も本格化します。

これを機に、京都市や府保健所との連携をいっそう深め、健康長寿社会の実現に向けて、府民の皆さまと共に歩むことができる研究所でありたいと願っております。

今後とも皆さまのご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

「身近な川の生物調査」をお手伝いしています

川底にすむ生き物の種類や数を調べることで、水質（水のごとの程度）を判定する「身近な川の生物調査」は、夏休み期間を中心に全国的に毎年5万人以上の人々が参加して行われています。京都府でも府内の河川を対象に毎年各地で調査が行われており、昨年度は2千人を超える参加がありました。

調査方法は簡単で、環境省の全国水生生物調査のホームページ*でも紹介されています。しかし、初めて調査を行うときは、調査場所の決め方、調査道具の扱い方、生きて動く虫たちをうまく見分ける方法など、手助けが必要なこともあるように思います。

京都府保健環境研究所では、長年、府内河川の水生生物調査を実施しています。最近では、これらの調査データを効率よく利用できるためのデータベース構築を研究テーマのひとつにしています。今年度からは、京都府内でよくみつかると川の生き物の見分け方、生き物の写真、過去のデータとの比較、学習クイズなどを搭載した、どこでも利用できるタブレット型端末の試用を始めましたので、調査をよりスムーズに行えるツールとして活用できると期待しています。

川の生き物を調べてみると、川の上流・中流・下流などの場所や川の流れている地域、河床の状況・環境によって、よくみつかるとの生き物の種類や数も異なり、様々な生き物が、それぞれの場所で生活していると実感できます。また、毎年継続して調査をすることで、環境の変化に気づくこともできます。身近な環境を知るよい機会として川の生物調査を実施されてはいかがでしょうか。

当研究所では、近くの川を調べてみたいが調査についてよく分からないといった場合は調査のお手伝いをする講師派遣（10名程度以上のグループが対象）、調査にあたって指導者や引率の方が事前に学習しておきたいといった場合は講師養成研修、というように、皆さまのご要望に応じて調査のお手伝いをしています。

また、調査道具の貸し出しも行っておりますので、府庁環境管理課水質担当や当研究所環境衛生課に、お気軽にご相談・お問い合わせください。

調査の申し込み・調査道具の貸し出しの相談
・問い合わせ先

環境管理課 水質担当 075-414-4711

講師派遣、講師養成研修の申し込み・相談
・問い合わせ先

保健環境研究所 環境衛生課 075-621-4162

※環境省「全国水生生物調査のホームページ」

<https://water-pub.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/>



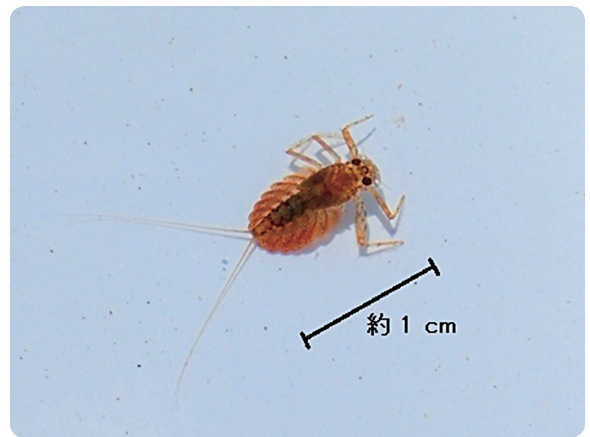
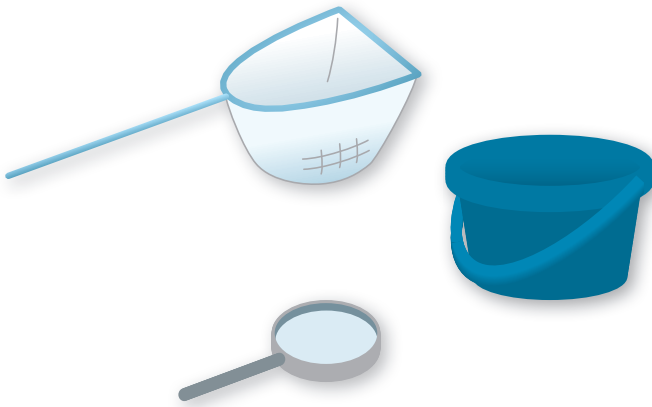
職員による調査お手伝いの様子



調査風景



ヘビトンボの幼虫



ヒラタカゲロウの幼虫

京都府保健環境研究所が新しくなります (その3)

平成 28 年度までに実施設計を終え、また、埋蔵文化財調査の結果、文化財として価値のある遺物は出土しませんでした。

更に今年 4 月下旬には旧伏見診療所及び車庫の解体工事を終了し、現在、建設予定地は写真のような更地となっており、いよいよ今年秋(10 月ごろ) から新研究所の建設工事に着手する予定となっています。今後、完成まではおおむね次のとおり計画しています。

平成 29 年 5 月～9 月 新研究所建設地周辺の家屋調査

平成 29 年 10 月ごろ～平成 31 年秋 新研究所の建設工事

平成 32 年度 現在の保健環境研究所の建物の解体工事

平成 33 年度 現在の研究所の建物の跡地に駐車場等、外構を整備、新研究所の整備完了



【建設予定地 (奥は現在の研究所)】

☆いろいろなことにチャレンジできる夏休み、身近なところから「保健や環境」について少し考えてみませんか！

京都市連携事業 「夏休み体験教室－科学の目で見なおそう身の周り」 参加者を募集します。

昨年の様子から

○小学生コース

対象者 小学生4年生～6年生
日時 7月28日(金) 13:30～16:00
会場 京都府保健環境研究所
(京都市伏見区村上町395)

内容・定員(応募者多数の場合は抽選)

- ①環境コース「ムラサキキャベツで水溶液の性質をしらべよう」 **20名**
ムラサキキャベツを使って、身の周りにあるさまざまな水溶液の酸性・アルカリ性をしらべてみよう。
- ②保健コース「iPS細胞を見てみよう！」 **20名**
人のからだのしくみや成り立ちを学ぶとともに、iPS細胞の実物を見てみよう。



ペットボトル浄水器で水をきれいにする実験



ゼリーを用いてだ液の働きを調べる実験

○中学生コース

対象者 中学生
日時 7月28日(金) 13:30～16:30
会場 京都市衛生環境研究所
(京都市中京区壬生東高田町1-20)

内容・定員(応募者多数の場合は抽選)

- ①環境コース
[見てみよう空気や水のごれ] **20名**
空気や、水の汚れはどうやって調べる？
- ②食品コース [しらべてみよう食の安全] **15名**
毎日口にする飲み物、食べ物の安全はどう守られているのだろうか？
- ③衛生昆虫コース [身近な昆虫について] **10名**
身近にいる昆虫について知っているようで、意外と知らないことが多い！
昆虫のことを学ぼう！

○申込方法

Eメール又ははがきに住所、氏名、電話番号(日中に連絡のつく番号)、学校名、学年、年齢、希望のコースを記入し、送付してください。

○申込期間

7月1日(土)から7月19日(水)まで《必着》

○申込先・問い合わせ先

京都府保健環境研究所 庶務課
〒612-8369 京都市伏見区村上町395
Eメール: hokanken@pref.kyoto.lg.jp
電話: 075-621-4067

または
京都市衛生環境研究所 管理課
〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1-20
Eメール: eikouken@city.kyoto.lg.jp
電話: 075-312-4942

○その他

参加費は無料です。
参加の可否は、締め切り後郵送でお知らせします。

編集発行 京都府保健環境研究所

発行日・平成29年6月
京都市伏見区村上町395(〒612-8369)
TEL(075)621-4067(庶務課)
621-4069(細菌・ウイルス課)
621-4167(理化学課)
621-4162(環境衛生課)
621-4163・4165(大気課)
621-4164(水質課)
FAX(075)612-3357
<http://www.pref.kyoto.jp/hokanken/>
E-mail:hokanken@pref.kyoto.lg.jp



〈交通機関〉京阪電車/伏見桃山駅下車 徒歩約10分
近鉄/桃山御陵前駅下車 徒歩約10分
市バス/西大手筋停留所下車徒歩約2分